



中期経営計画ローリング

2016年3月期 ～ 2018年3月期

(2015年3月期 決算補足説明資料より抜粋)

2015年5月8日

アニコム ホールディングス株式会社

(証券コード：8715)

1. 中期経営ビジョン

ペット保険を基盤に、どうぶつ飼育に適した環境整備を進めるペットのインフラ会社となり、

どうぶつの増加と健康長寿化を達成し、有効需要の増加・経済の発展に貢献します。

(1) どうぶつの増加は有効需要の増加に繋がります

有効需要は人口の数に一定の相関があるなか、日本では少子高齢化が進んでいます。

そこで、消費の増加・有効需要の増加を図るひとつの方法として、人口の増加に代替してどうぶつの増加が考えられます。

そしてそのためには、どうぶつが増加するに適した環境を準備する必要があると考えます。

(2) しかし、現時点でのどうぶつの飼育環境は…

ただし、現在の飼育環境は必ずしもそのどうぶつと人間において、

- ・自身の生活にマッチしたどうぶつと共生しているとは限らない
- ・フード、水、サプリ等を使用し続けた効果や有意差が判然としない
- ・動物病院での診療内容と予後が最良のものかわからない

等、そのどうぶつ一頭一頭それぞれに最善の環境が提供されているか、は必ずしも明確な状況ではないと考えられます。



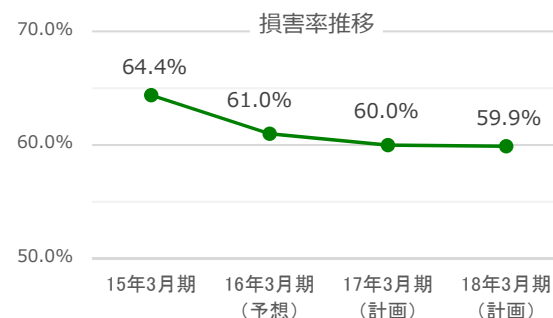
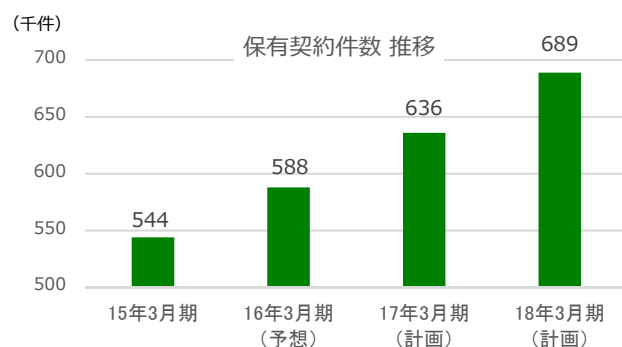
そこでアニコムグループは、ペット保険事業で得た膨大なデータや知見・経験等に基づき、ペット保険のみならず、人間とどうぶつとの最適な飼育環境を一頭一頭それぞれの生涯に亘り様々なサービスとして提供するペットのインフラ会社を目指します。

2. 中期経営戦略

ペット保険事業の一層の拡大と、ペット保険で蓄積されたリソースを基に新たなサービスを展開

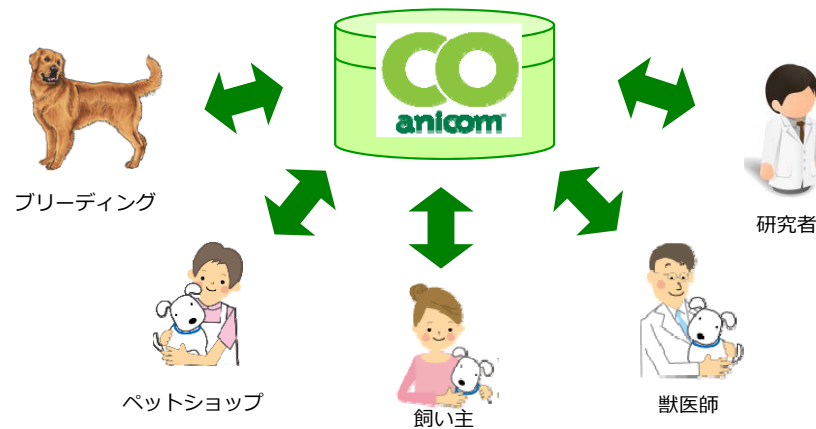
(1) ペット保険事業の一層の拡大

損害率を注視しつつペット保険の更なる拡大を図り、持続的成長の基盤を確立いたします。



(2) 「予防」を中心に据えた新たなサービス (① 動物医療向け事業、② 臨床・研究事業、③ カスタマー向け事業) の拡大

新たな成長ドライバーとして、ペット保険をつうじて当社グループに蓄積されたどうぶつの診療データ等を基盤とした「予防型保険会社」としての取組みを加速させ、どうぶつが幸せな一生を過ごせるための多様なサービスを提供いたします。



3. ペット保険事業

(1) 英国と比較したペット保険市場の潜在的な成長可能性

すでに40年程度の歴史を持つペット保険先進国の英国では 約23-25%の普及率 であり、日本が英国と同等の加入率に成長すると仮定すると、潜在的な市場規模は 現在の4 - 5 倍と試算されます。

	人口 (世界銀行2011年度)	ペット (犬・猫) 飼育頭数	1人当たり 飼育頭数	ペット保険 加入率	現在の市場規模	1 契約単価
英国	6,274万人	1,520万頭	4.1人に1頭	約23-25%	約1,060億円	約 28千円
日本	12,781万人	2,030万頭	6.2人に1頭	約5.2%	約350億円	約 35千円

出典：英国市場：Datamonitor社『UKPetinsurance2011』・1 £ = 180円換算で算出
日本市場：(株)富士経済『2015年ペット関連市場マーケティング総覧』

中長期的に英国同様の普及率達成を仮定すると

日本の潜在的な市場規模は

現在の 4 - 5 倍

約 1,600億円超

3. ペット保険事業

(2) 更なるペット保険マーケット拡大に向けて

過去の統計上、ペット保険契約は新規契約のチャネルによって損害率に大きな開きが発生しています。

今後もチャネルごとの損害率動向を注視しつつ、各チャネルにマッチした営業戦略によりマーケットの拡大を目指します。

① ペットショップチャネル（新たに0歳児をお迎えする方向け）

新規契約チャネルのうち損害率が比較的良好なペットショップチャネル（0歳児チャネル）を重視した営業戦略を展開しております。

今後も当チャネルにおける新たな代理店様の開拓に努めるほか、既にお取引のあるペットショップ代理店様との協力関係を強化し、ペット飼育数・飼育率の増加・拡大に向けた取組みや、生体お引き渡し時に保険をご契約いただける割合を増やすための営業力向上の仕組みを練り上げ、マーケットの拡大に努めます。

（ペットショップチャネルの新規契約数）

2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期 （予想）	2017年3月期 （計画）	2018年3月末 （計画）
74,002 件	75,007 件	80,000 件	85,000 件	90,000 件

② 一般チャネル（既にどうぶつを飼われている方向け）

比較的損害率が高い傾向にある一般チャネル（ペットショップ以外のチャネル）では、適正なアンダーライティングにより損害率のコントロールを行うことが必要となりますが、2014年11月から限度日数付き商品の販売を開始したことにより、従来以上に損害率のコントロールが可能となりました。

今後も代理店様と密な連携を図り、損害率の動向を注視しつつ一般チャネルの拡大に努めます。

（一般チャネルの新規契約数）

2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期 （予想）	2017年3月期 （計画）	2018年3月末 （計画）
35,168 件	26,621 件	26,700 件	29,000 件	32,000 件

3. ペット保険事業

(3) 損害率の適切なコントロール

これまで「損害率の適切なコントロール」を図るため、保険料の改定や新商品開発等により取組んでまいりましたが、今後もペット保険事業を拡大するうえで引き続き重要な施策の1つとして認識しております。

① 過去に実施した主な損害率改善対策

施策	効果
90%商品販売停止	・相対的に損害率の高い母集団の契約がゼロとなったため即効性があり、かつ将来に亘り効果が継続。
高補償割合商品への引き上げ制限 (50%→70%への変更制限)	・高リスクとなってから高補償割合商品へ移行する行動を制限。 ・将来に亘り移行を歯止め。中長期で効果を発揮。
限度日数付き商品 (既契約者は更改時に現商品との選択可)	・高リスク契約の頻度高い保険利用を抑制。 ・現在リスクが低い契約には即効性は薄いですが、中長期で効果を発揮。
健康割増引制度	・保険金請求回数に基づいた保険料の割増引制度。 ・各契約の保険金請求回数に応じた保険料とすることで継続率の向上と損害率改善を両立。

② 今後の目標値 (E/I 損害率)

2015年3月期の **実績は64.4%** ですが、

中長期で **60%前後** の水準を維持することを目指します。

そのために必要となる商品戦略、営業戦略、保険金支払体制強化等を今後も継続して展開してまいります。

なお、同業他社に比較して高い水準であると認識しておりますが、保険金支払いに対する契約者の満足度を高め、継続率の更なる向上を目指してまいります。

(E/I 損害率)

2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期 (予想)	2017年3月期 (計画)	2018年3月末 (計画)
66.7 %	64.4 %	61.0 %	60.0 %	59.9 %

4. 動物医療向け事業

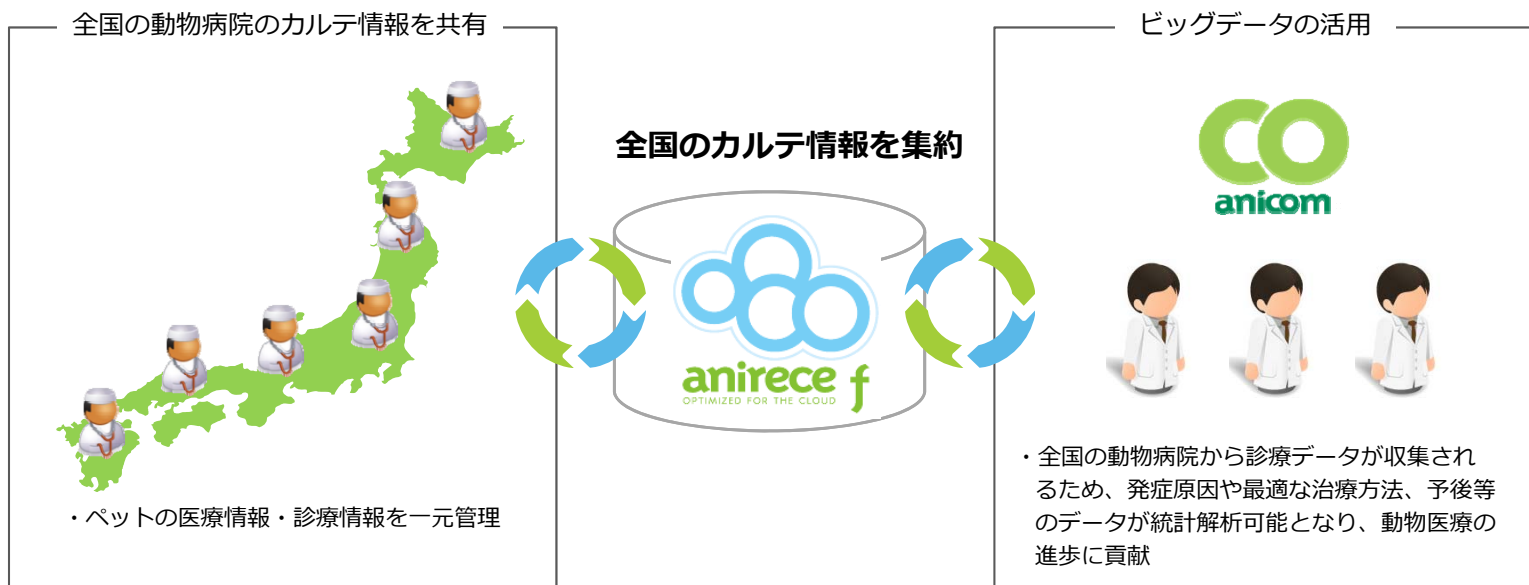
クラウド型 カルテ管理システム事業 (商品名：アニレセF)

アニコム パフェ（株）において、動物病院向けカルテ管理システム「アニレセF」を開発し、全国の動物病院に販売しております。

アニレセFにより全国の動物病院をクラウド環境で繋ぐことで蓄積される膨大な獣医療データを、グループに所属する獣医師等が分析します。これにより獣医療の標準化への貢献を図るほか、どうぶつの健康に資する研究開発、飼い主へのカルテ公開等を通じて新たな付加価値を提供する基礎となります。

なお、アニレセFは販売開始後約1年ですでに全国約350の動物病院に導入いただいておりますが（2015年3月末時点）、今後も新たな機能やオプションを継続して開発・提供することで、更なる導入病院数の拡大を見込んでおります。

また、将来的には飼い主へもオープン化を図り、カルテデータの閲覧のみならず飼育記録等も管理可能となるシステムを目指します。



	2015年3月末 (実績)	2016年3月末 (予想)	2017年3月末 (計画)	2018年3月末 (計画)
アニレセF導入病院数	349 病院	1,500 病院	2,520 病院	3,330 病院

アニコムが「予防」の最前線に

(1) 2次医療の提供

2次医療および獣医療に関する研究施設として、日本どうぶつ先進医療研究所株式会社を2014年1月に設立しております。現在は犬猫の心臓疾患に関する外科処置を主要な診療科としておりますが、今後診療科目の幅を広げる予定であります。



(2) 研究事業

1つでも多くの傷病を1秒でも早く減少させ、撲滅させるため、ソフト・ハードの両面から体制強化を図っております。すでにグループ内に75名の獣医師が所属（2015年3月末現在）しておりますが、今後は獣医師のみならず様々な分野の専門家を採用・招聘し、さらに研究施設・設備をより一層充実させることで、広く深く予防のための研究を進めてまいります。



6. カスタマー向け事業

コンシェルジュサービス事業

どうぶつの健康長寿化のため、どうぶつの個性や環境にマッチしたサービスをご提案するコンシェルジュサービスを検討中です。

【コンシェルジュ・サービス（サービス名：アニコム コンシェルジュ）】

グループに蓄積している膨大な獣医療データに基づき、どうぶつの種別・年齢・環境等にマッチした必需品を提案し、ペットショップと連携してご自宅までお届けするサービス。

フード、シーツ、水、消臭剤等いずれもどうぶつと飼い主が健康に過ごすための商材を提供するものであり、現在テストマーケティングを展開中。

今後、テスト結果に応じて取扱い商材・取扱いペットショップを順次拡大する予定。

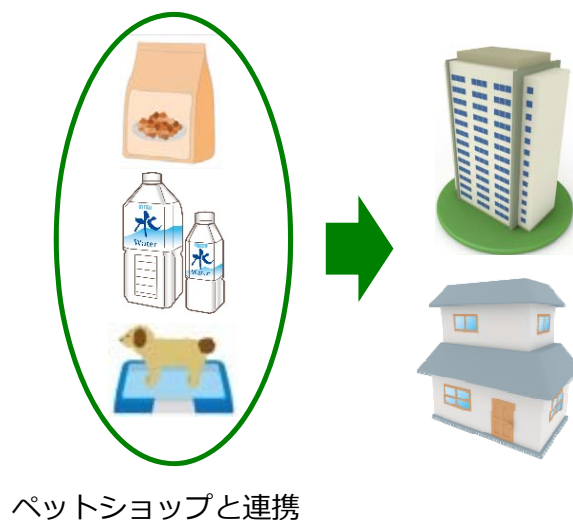
飼育における様々な因子



どうぶつそれぞれの個性



そのどうぶつの健康にとって
最大限マッチした商材を提案し、
ご自宅までお届けする



※ サービスのイメージ

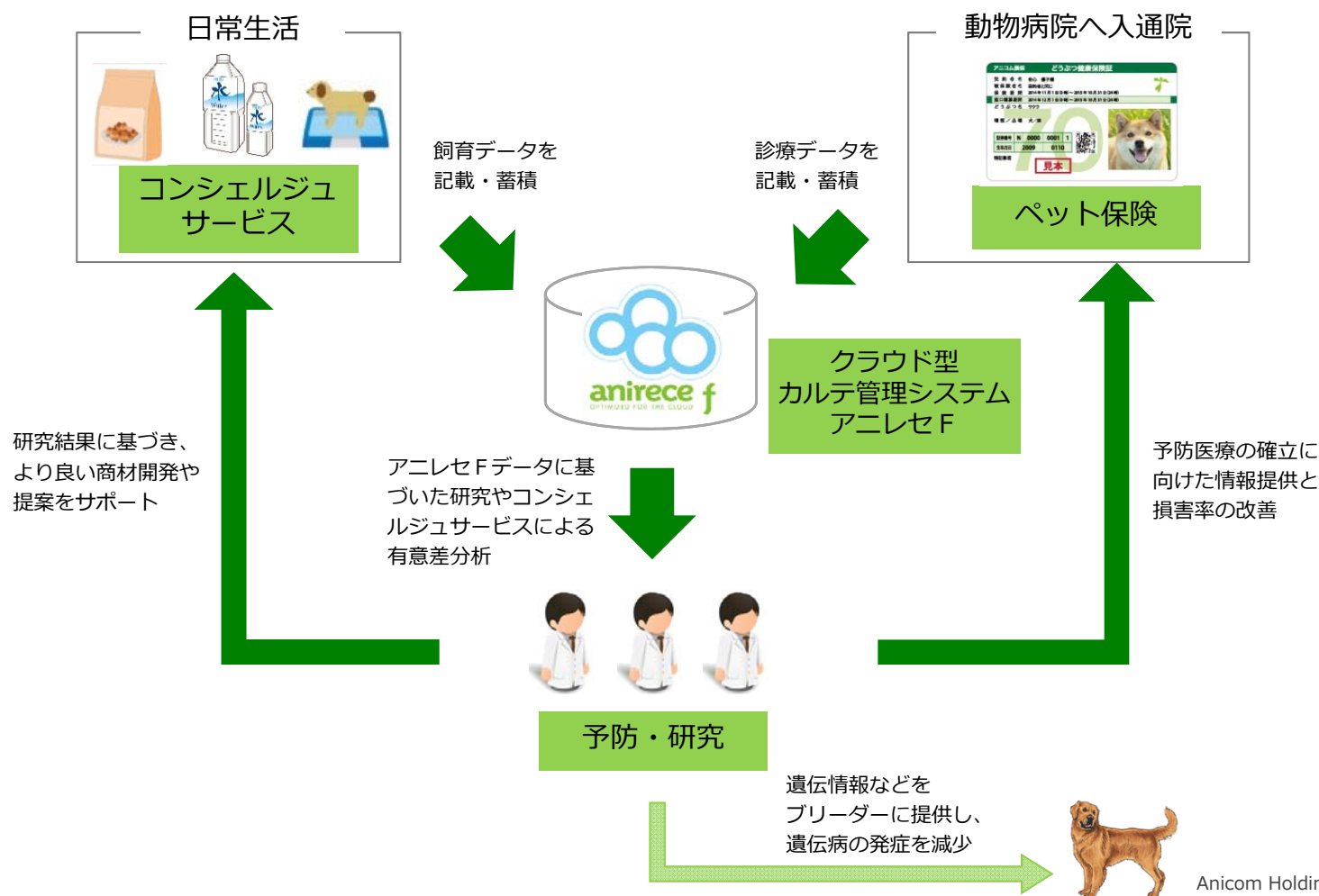
7. どうぶつの長寿化を達成するための各事業の関係性

多種多様な情報を蓄積して分析。その結果を予防に展開。

アニレセFにコンシェルジュサービスで提供する各商材の利用データや動物病院の診療データを蓄積させることで、提供する商材の効果を長期的に亘ってモニターすることが可能になります。そしてその長期かつ膨大なデータをグループの研究チームが分析・研究します。

分析結果は提供する商材のブラッシュアップや予防を確立するための情報として利用し、どうぶつの健康かつ長寿化に役立てます。

また、遺伝病を発症させうる遺伝情報を突き止めた場合にはその情報をブリーダーに提供することで、遺伝病を減少・撲滅させるよう取組んでまいります。



8. 中期経営計画ローリング2018 経常収益・経常利益

(百万円)

	14年3月期末	15年3月期末	16年3月期末 (予想)	17年3月期末 (計画)	18年3月期末 (計画)
経常収益	18,366	22,638	25,600	28,300	31,200
(保険引受収益)	(18,087)	(21,733)	24,521	26,738	29,099
(資産運用収益)	(108)	(522)	487	550	600
(その他)	(171)	(382)	593	1,012	1,501
経常利益	733	1,250	2,100	2,600	3,100
当期純利益	447	829	1,446	1,808	2,172

ROE (16年3月期以降は目標)	5.6 %	9.5 %	14.5 %	前期以上	前期以上
-------------------	-------	-------	--------	------	------

※以下、アニコム損保(株)単体の数値

E/I 損害率	66.7 %	64.4 %	61.0 %	60.0 %	59.9 %
事業費率	28.6 %	28.3 %	30.9 %	31.3 %	31.0 %
コンバインド・レシオ	95.3 %	92.7 %	91.9 %	91.3 %	90.9 %

保有契約件数 (ペット保険 期末時点)	504,969 件	544,815 件	588,000 件	636,000 件	689,000 件
保険金支払件数 (ペット保険)	2,331 千件	2,519 千件	2,790 千件	2,950 千件	3,140 千件

本資料は、現在当社が入手している情報に基づいて、当社が本資料の作成時点において行った予測等を基に記載しております。

これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、一定のリスクや不確実性を内包しております。従いまして、将来の実績が本資料に記載された見通しや予測と大きく異なる可能性がある点をご承知おきください。

なお、本資料は情報提供のみを目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資の勧誘・募集を目的としたものではありません。

お問合せ先

アニコム ホールディングス株式会社 経営企画部

東京都新宿区下落合1-5-22 アリミノビル 2F

URL : <http://www.anicom.co.jp/>

